

2024年6月17日
株式会社ファーストロジック

「楽待」がJR東京駅に看板広告を掲出

東京都内で9カ所目の看板を設置、認知度向上を期待

本リリースのポイント

- 東京駅の山手線内回り・京浜東北線ホームに「楽待」の大型看板を設置
- 利用者数の多いターミナル駅に看板を掲出することで、サービスの認知度向上を狙う
- 東京駅の他には、新宿、有楽町、渋谷（2カ所）、恵比寿、六本木、京橋、八丁堀に掲出



場所：JR東京駅の山手線内回り・京浜東北線ホーム（3・4番ホーム）

国内最大の不動産投資プラットフォーム「楽待」（<https://www.rakumachi.jp/>）を運営する株式会社ファーストロジック（本社：東京都中央区、東証上場、証券コード：6037）は、2024年6月1日からJR東京駅の山手線内回り・京浜東北線ホーム（3・4番ホーム）において、看板広告の掲出を始めました。

これで、「楽待」の看板掲出は9カ所目となります。通勤客や観光客など多くの人々が利用するターミナル駅に広告を掲出することで、サービスの認知度向上を目指します。

看板広告で、サービスの「認知度向上」効果を期待

「楽待」では、2024年3月から東京の主要5区を中心に看板広告を掲出しています。掲出後、「楽待」を利用している不動産会社や、当社を志望する学生などから「楽待の看板を見た」という声を多くいただいております。さっそく反響の効果を感じています。

JR東京駅ホームでの看板掲出は2024年6月に始まったばかりですが、より多くの方に「楽待」を認知してもらおうきっかけになり、新規顧客の獲得や既存顧客の利用促進につながる効果を期待しています。



公共の場であるため、撮影や駅員への問い合わせはご遠慮ください。列車の進入にご注意下さい

「きぬた歯科」とコラボした看板が話題に

今回掲出が始まった東京駅の看板を含め、看板のデザインは「楽待」のロゴを大きくあしらったデザインですが、1か所だけは「きぬた歯科」とコラボレーションしたデザインになっております。

「きぬた歯科」とは、特徴的な看板デザインと広告戦略で有名な、東京都八王子市にある歯科医院です。2024年4月から「楽待」とのコラボ看板が掲出されると、SNSではコラボ看板に関するコメントが相次ぎ、反響を呼びました。



「楽待」と「きぬた歯科」のコラボ看板（恵比寿）

なお、本コラボレーションはきぬた歯科に許可をいただいた上で行っており、看板に使用した写真も直接ご提供いただいています。

不動産投資の「楽待」概要

2006年3月に開設した「楽待」は、月間168万人が訪れる、使いやすさ・利用者数・掲載物件数・No.1(*1)の不動産投資プラットフォームです。全国5000社の不動産会社が毎日物件情報を登録しており、ユーザーは自身の希望条件で絞り込んで、目当ての物件を探すことができます。

また、不動産投資専門メディア「楽待新聞」を通じ、業界のニュースや不動産投資の成功談・失敗談などを発信。公式 YouTube「楽待 RAKUMACHI」はチャンネル登録者数65.7万人、総再生回数は2億7500万回にのぼります。（2024年6月時点）

不動産業界のDX（デジタルトランスフォーメーション）を促進するため、2020年6月には、不動産会社とオンライン通話ができる「ビデオ通話」機能もリリースしました。更に2022年6月には有料会員サービス「楽待プレミアム」を開始。登録することで、業界初(*2)の独自機能「賃貸経営マップ」やプレミアム会員限定動画が見放題になります。

「公正な不動産投資市場を創造する」というビジョンのもと、不動産投資家・加盟不動産会社の双方にとって使いやすい機能やサービスの提供に努めてまいります。また、2024年10月25日からは社名を株式会社ファーストロジックから「楽待株式会社」に変更予定です。

【会社概要】



FIRST LOGIC

社名：株式会社ファーストロジック

URL：<https://www.firstlogic.co.jp/>

上場市場：東証スタンダード（証券コード：6037）

本社：東京都中央区八丁堀三丁目3番5号 住友不動産八丁堀ビル5階

設立：2005年8月23日

事業内容：国内最大の不動産投資プラットフォーム「楽待」の運営

【本件の問い合わせ】

株式会社ファーストロジック広報担当

携帯電話：080-4775-3086（金子）／080-4129-5743（尾藤）

固定電話：03-6833-9438

E-mail：rakumachi@firstlogic.co.jp

*1 『物件数 No.1』：日本マーケティングリサーチ機構調べ（2022年12月）

『使いやすさ No.1』：ゴメス・コンサルティング調べ（2022年12月）

『利用者数 No.1』：自社調べ（2022年12月）

*2 自社調べ（2023年4月）

